

平成24年度後期 学生による授業評価アンケート集計結果

1. アンケート実施概要

(1) 目的

授業評価アンケートは、次の①～③を基本原則とし、本学の教育の質・教育効果を向上させることを目的として実施した。

- ① カリキュラムの改善につなげる
- ② 授業改善につなげる
- ③ 透明性を高める

(2) 実施期間

平成25年1月22日(火)から2月18日(月)まで (※ 集中講義は別途)

(3) 実施科目

アンケート実施率は93.0%で、回答率は74.2%(昨年度同期71.2%)であった。

開講科目に対する実施率は、89.7%で、前年同期85.9%より、3.8ポイント向上した。

科目区分	開講科目	実施対象科目	実施科目	アンケート実施率	アンケート実施科目			※ 昨年度同期回答率
					受講登録者数	回答数	回答率	
環境科学部	110	105	98	93.3%	4,640	3,086	66.5%	62.6%
工学部	82	82	80	97.6%	4,454	3,071	68.9%	72.0%
人間文化学部	145	145	124	85.5%	4,895	3,558	72.7%	65.6%
人間看護学部	32	18	18	100.0%	1,111	1,038	93.4%	89.8%
全学共通教育	199	197	188	95.4%	5,987	4,983	83.2%	81.6%
人間学	23	23	22	95.7%	1,984	1,375	69.3%	69.5%
合計	591	570	530	93.0%	23,071	17,111	74.2%	71.2%

*アンケート実施率は、実施対象科目に対する実施率を表す。

*開講科目から実習等の科目を除き、実施対象科目としている。

(4) 設問内容

設問1 この授業にどれだけ出席しましたか

- ①4回以上欠席 ②3回欠席 ③ 2回欠席 ④1回欠席 ⑤すべて出席

設問2 この授業に対するあなたの受講態度は真剣でしたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問3 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか

- ①0分 ②0～10分 ③10～30分 ④30分～1時間 ⑤1時間以上

設問4 授業内容は興味の持てるものでしたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問5 授業レベルはどう思いましたか

- ①低度 ②やや低度 ③適度 ④やや高度 ⑤高度

設問6 授業は理解できましたか

①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問7 授業で扱った内容をより深く学びたい気持ちになりましたか

①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問8 この授業は履修の手引きの内容と一致していましたか

①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問9 教員の教え方は適切でしたか

①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問10 教員の教え方で優れていたところはどこですか(複数回答可)

①学生とのコミュニケーション ②授業の組立 ③テキスト・資料等の教材
④板書・スクリーン等 ⑤話し方・声の大きさ 0:特にない

設問11 教員の教え方で工夫すべきところはどこですか(複数回答可)

①学生とのコミュニケーション ②授業の組立 ③テキスト・資料等の教材
④板書・スクリーン等 ⑤話し方・声の大きさ 0:特にない

設問12 この授業の満足度は、どの程度ですか

①とても低い ②やや低い ③普通 ④やや高い ⑤とても高い

設問13 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して適切な処置を取りましたか

①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

※ このほかに自由記述あり

2. アンケートの集計結果

(1) 平均ポイント (学部等別)

アンケート項目	昨年度							
	環境	工	人文	人看	全共	人間学	全学	全学
Q1.授業への出席	4.0	4.3	4.0	4.8	4.1	4.1	4.1	4.1
Q2.受講態度は真剣だったか	3.7	3.7	3.7	4.0	3.8	3.6	3.8	3.7
Q3.この授業に対する学習時間	2.6	3.0	2.3	2.6	2.6	1.9	2.5	2.5
Q4.授業内容への興味	3.7	3.5	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6
Q5.授業レベル	4.0	3.8	4.2	4.2	4.2	4.3	4.1	4.0
Q6.授業の理解	3.3	3.2	3.5	3.4	3.5	3.4	3.4	3.3
Q7.より深く学びたくなったか	3.5	3.3	3.6	3.6	3.4	3.5	3.5	3.4
Q8.履修の手引きとの一致度	3.6	3.5	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6
Q9.教員の教え方は適切か	3.7	3.5	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.6
Q10.教え方で優れていた点								
Q11.教え方で工夫すべき点								
Q12.授業の満足度	3.5	3.4	3.6	3.5	3.6	3.4	3.5	3.5
Q13.迷惑行為に対する対応	3.4	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	3.5	-

※ Q10およびQ11については、ポイント評価でないため平均ポイントは示していない。

全学平均のポイントは、ほとんどの項目において年々わずかに上昇する傾向にある。

全学共通は、過去5年間(国際教育センター)や本年度前期に比べても、ほぼ全ての項目でポイントがわずかに低下している。

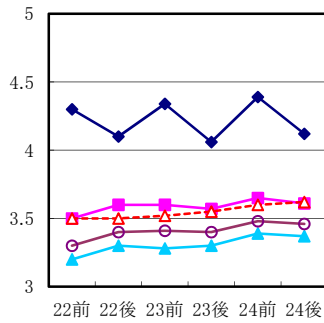
また、授業への出席については前期が高く、後期が低い傾向が続いている。

(2) 平均ポイントの学期別推移 (過去3カ年)

出席・興味・理解・深化・手引きに関する学部等別のポイント

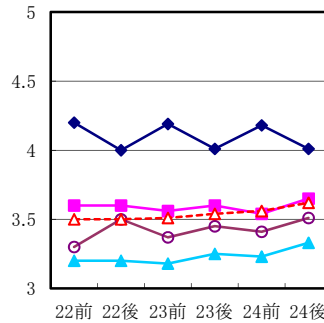


ア 全学



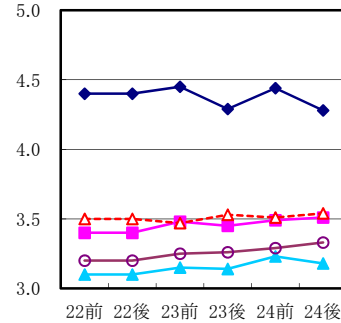
出席は、前期が高く後期が低い傾向が続いている。全体的にはわずかに上昇傾向にある。

イ 環境科学部



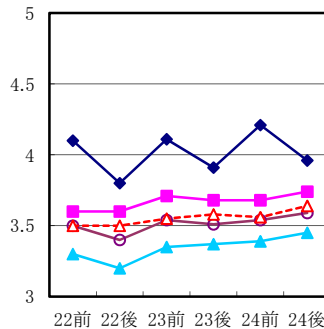
ほぼ同じような推移である。理解、手引きがわずかに上昇傾向にある。

ウ 工学部



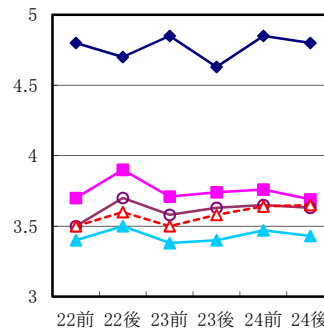
出席は全学平均より常に高いが、ほぼ同じ傾向が続いているが、わずかに上昇傾向にある。

エ 人間文化学部



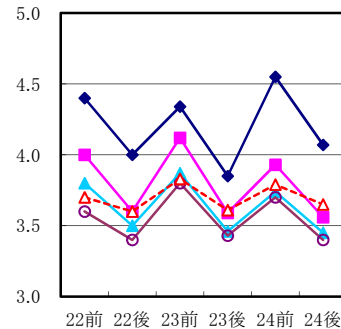
ほぼ同じような推移であるが、全体的にわずかに上昇傾向にある。

オ 人間看護学部



他学部と比べ、出席のポイントが常に高い。

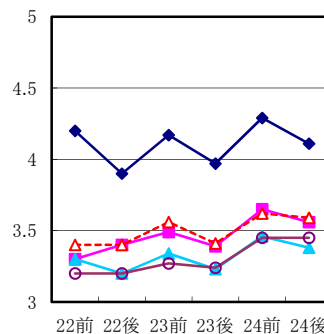
カ 全学共通教育推進機構



*23後までは、国際教育センターのデータ

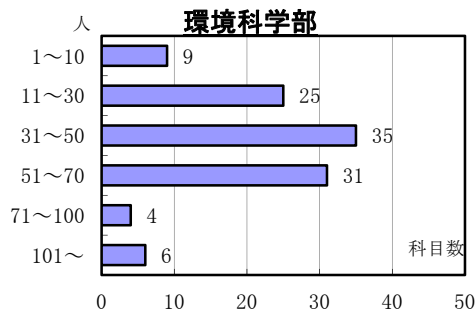
単純比較はできないが、出席、手引きを除き、23後に比べポイントがわずかに低下している。

キ 人間学

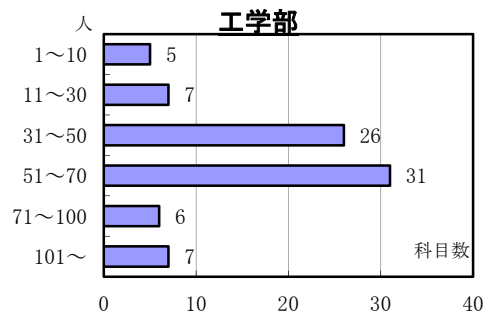


ほぼすべての項目において、上昇の傾向にある。

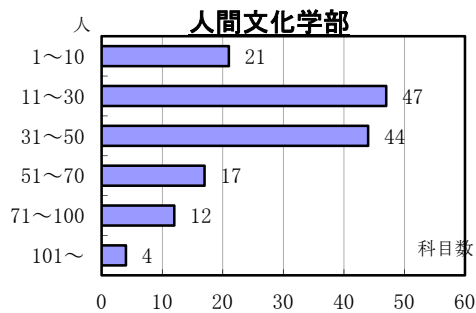
※ 参考（科目別受講登録者数の状況）



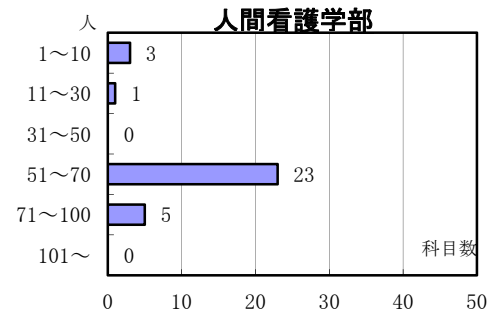
- 平均履修登録者数 46.3人
(H23:49人)／科目



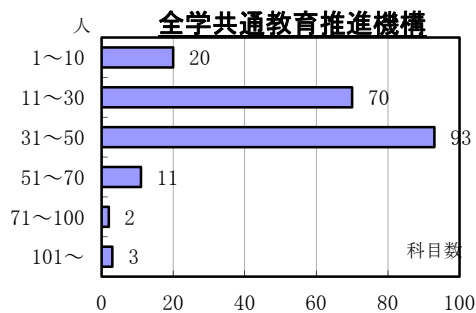
- 平均履修登録者数 55.2人
(H23:54人)／科目



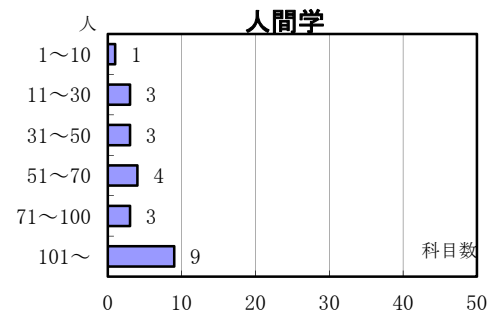
- 平均履修登録者数 36.4人
(H23:41.9人)／科目



- 平均履修登録者数 55.9人
(H23:53.2人)／科目



- 平均履修登録者数 30.8人／科目



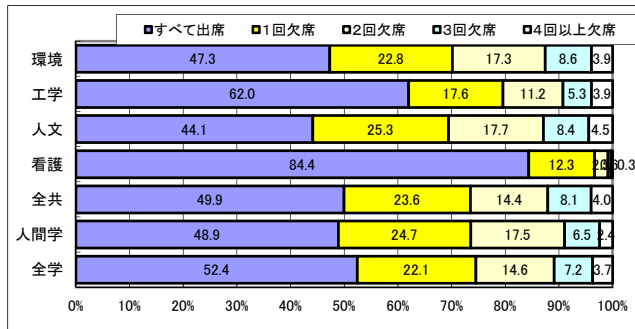
- 平均履修登録者数 97.1人
(H23:104人)／科目

人間文化学部の1科目当たりの履修登録者数の平均は、前年度同期41.9人から今年度36.4人へと減少している。(本年度開設した国際コミュニケーション学科(平均28.2人)を除いても、38.8人となり、減少している。)

なお、履修登録者数が10人以下の科目は、全学で59科目(H23:45科目)、(環境9、工学5、人文21、看護3、全共20、人間学1)で、前年度同期から主に環境科学部で3科目、人間文化学部で3科目と全学共通教育で10科目で増加し、工学部で2科目減少した。(国際コミュニケーション学科の関係では、人間文化学部で12科目、全学共通教育で2科目増加している。)

(3) 項目別結果 — 学部等別 —

設問1 この授業にどれだけ出席しましたか

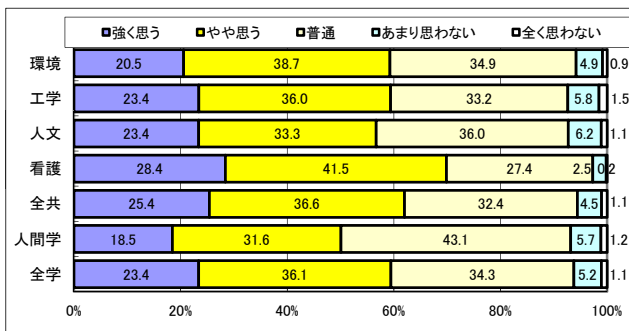


全学では「すべて出席」の授業が50%を超えており、中でも人間看護学部の出席率が常に高く、前年度同期と比較しても11.1ポイント上昇した。

全体的には「すべて出席」が前年度同期に比べてわずかに増加している。

4回以上欠席するものは、どの学部においても5%未満となっている。

設問2 この授業に対するあなたの受講態度は真剣でしたか

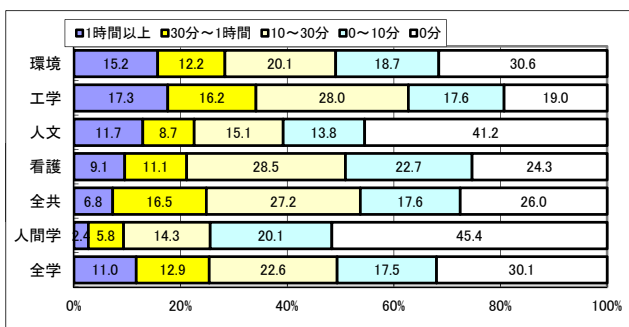


受講態度は、全学では59.5%が「真剣」と回答している。

全体分布は変わらないが、前年度同期と比べて「強く思う」の割合が、ほとんどの学部で上昇した。特に、人間学において前年度同期比6.4%の上昇が見られた。

本年度前期と比べると、「強く思う」は看護学部、全学共通、人間学で減少している。

設問3 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか

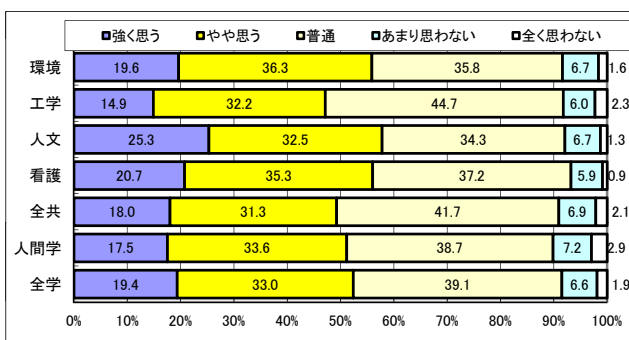


全体的には、同じような分布が続いている。工学部では、「1時間以上」「30分～1時間」が33.5%と最も高く、人間文化学部、人間学では「0分」とする割合が高い。

学習時間が「0分」とする割合は、全学共通教育を除き、減少しているが、1時間以上学習している割合も減少傾向にある。

この設問は、この授業に対する学習時間を問うものであるが、1日あたりの学習時間についても別途確認が望まれる。

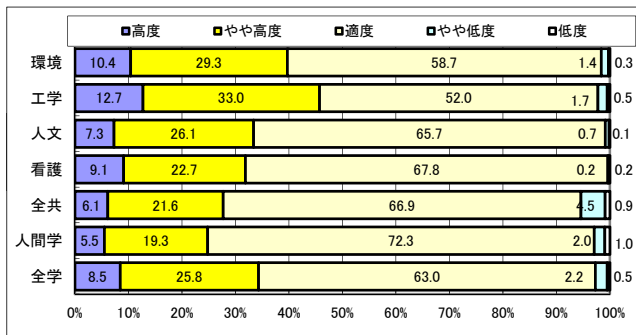
設問4 授業内容は興味を持てるものでしたか



約半数は授業に興味を持っていると回答しているが、約1割弱で興味をもてないとする科目も存在する。

全体の回答分布としては、前年度同期とよく似た回答となったが、人間文化学部においては「強く思う」と答えた割合が増加した。

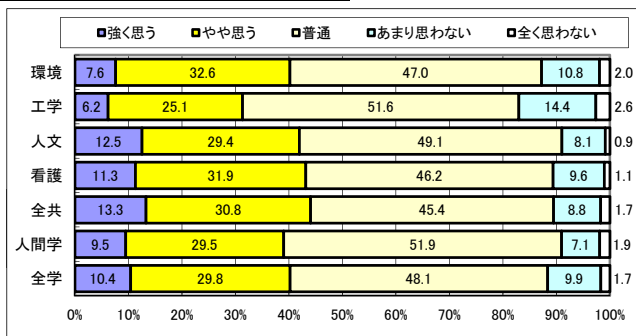
設問5 授業レベルはどう思いましたか



環境科学部、工学部では、「高度」「やや高度」がほぼ40%を超えているが、全体としては「適度」とする割合が増加し、特に全学共通教育を除いて、前年度同期と比較すると増加傾向である。

全学共通教育については単純に国際教育センターと比較はできないが、本年度前期と比べても「適度」の割合が減少している。

設問6 授業は理解できましたか

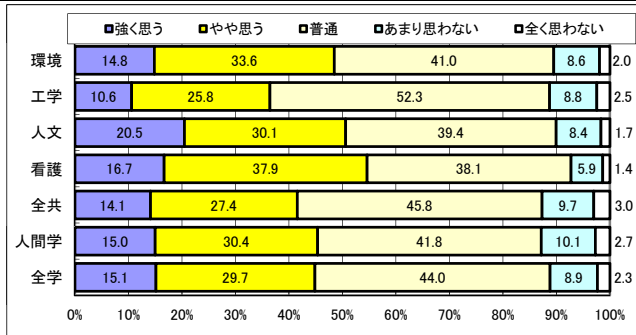


概ね授業は理解できているが、工学部においては17%の学生が不安を持っている可能性があるが、全年度同期(20.4%)と比べると減少傾向にある。

全学では「あまり思わない」「全く思わない」は、下記のとおり減少している。

H22後期 H23後期 H24後期
全学 16.6% → 14.6% → 11.6%

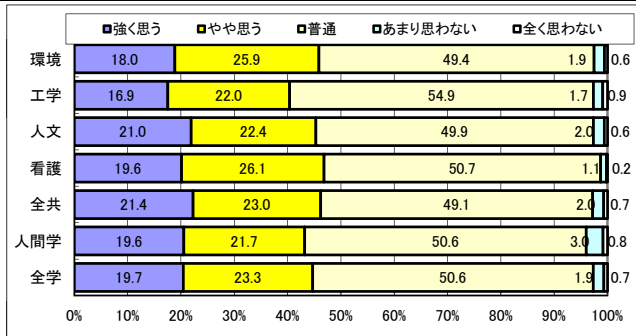
設問7 授業で扱った内容をより深く学びたい気持ちになりましたか



半数近くが深く学びたくなったと回答し、設問4の「興味」に比例した分布となっている。

前年度同期と比べると、全体的に「強く思う」とする回答の割合は増加し、「あまり思わない」とする回答の割合が減少した。

設問8 この授業は履修の手引きの内容と一致していましたか

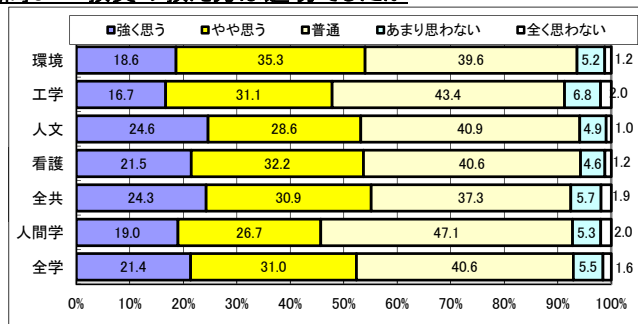


否定的な回答はどの学部等でも非常に少なかった。

前年度同期とほぼ同じ分布だが、「強く思う」とする回答は、全体的に少しずつ増える結果となった。特に人間学では、前年度同期に比べ6.2ポイント増加した。

全学共通教育は、本年度前期と比べると、「強く思う」が26.8%から21.4%に、「やや思う」が25.8%から23.0%に減少した。

設問9 教員の教え方は適切でしたか



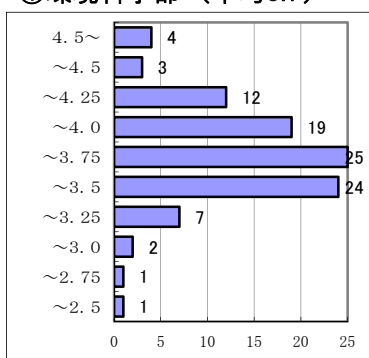
約半分の授業ではほぼ満足が得られていたと思われる。「強く思う」の回答は、全学的には増える傾向にあるが、人間看護学部においては減少している。

	H22後期	H23後期	H24後期
環境	17.5%	→ 18.2%	→ 18.6%
工学	13.7%	→ 15.9%	→ 16.7%
人文	16.6%	→ 21.7%	→ 24.6%
看護	22.9%	→ 25.4%	→ 21.5%
全共	(25.9%)	→ (25.3%)	→ 24.3%
人間学	14.5%	→ 11.5%	→ 19.0%

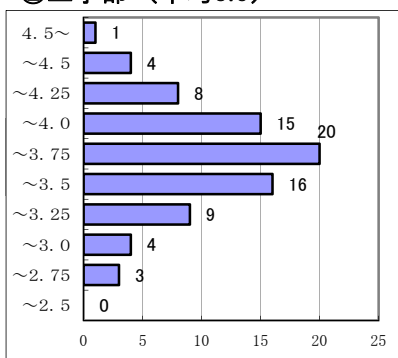
また、全学共通教育は、本年度の前期に比べると、「強く思う」が12ポイント減少している。

※ 設問9「教員の教え方は適切か」についての区分別分布

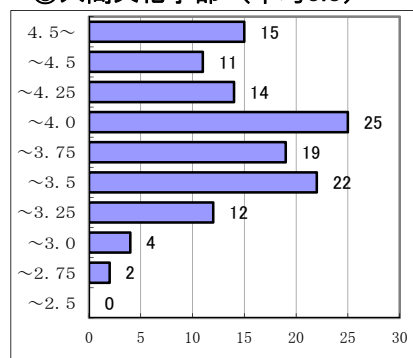
①環境科学部 (平均3.7)



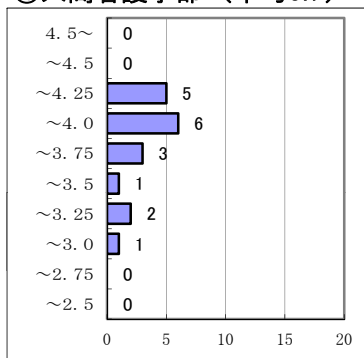
②工学部 (平均3.6)



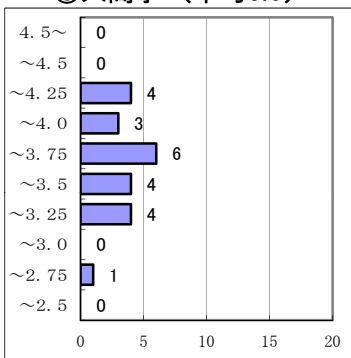
※ 縦軸:ポイント 横軸:科目数
③人間文化学部 (平均3.8)



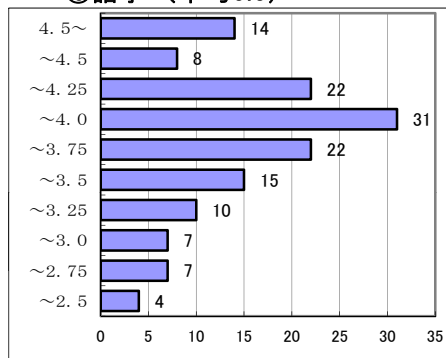
④人間看護学部 (平均3.7)



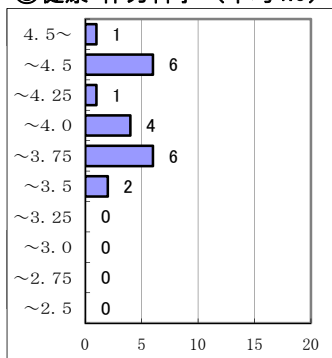
⑤人間学 (平均3.6)



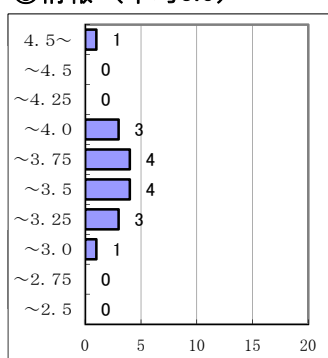
⑥語学 (平均3.8)



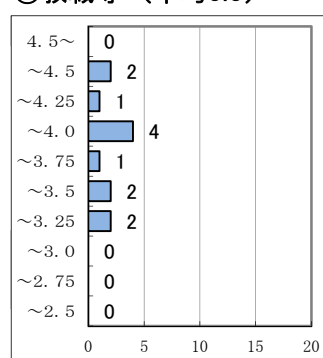
⑧健康・体力科学 (平均4.0)



⑨情報 (平均3.6)



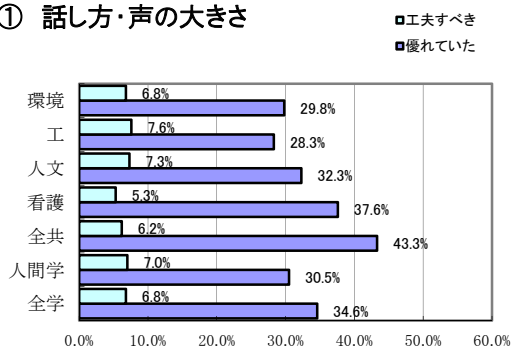
⑩教職等 (平均3.8)



設問10 教員の教え方で優れていたところはどこですか(複数回答可)

設問11 教員の教え方で工夫すべきところはどこですか(複数回答可)

① 話し方・声の大きさ

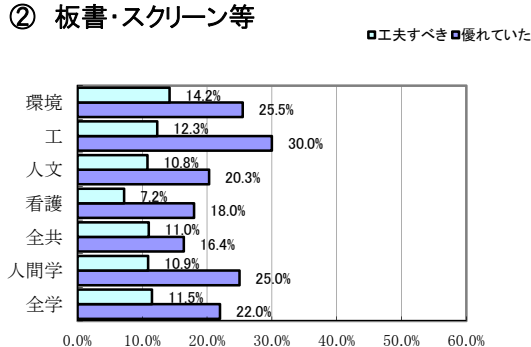


分布は例年と同様であるが、「優れていた」、「工夫すべき」とする回答は、年々減少傾向にある。

全学共通科目では、国際教育センターとの比較になるので単純には言えないが「工夫すべき」が増加している。

全共(H23後期4.9% → H24後期6.2%)

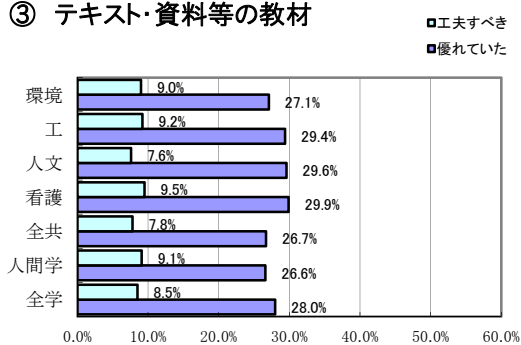
② 板書・スクリーン等



教員の個性がでるため「優れていた」、「工夫すべき」という回答が拮抗しやすい設問であり、全体に「優れていた」が少ない。年々改善が見られ、「工夫すべき」が減少はしているが、今後も引き続き工夫が望まれる。

全学(H23後期15.5% → H24後期11.5%)

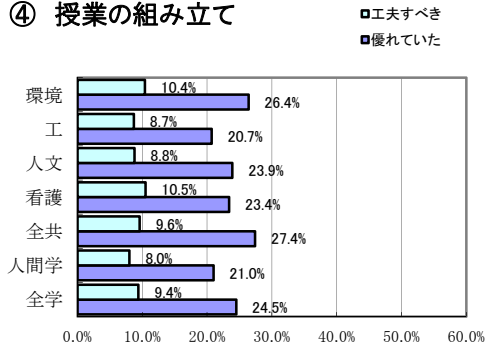
③ テキスト・資料等の教材



「優れていた」という回答は年により増減がある。

「工夫すべき」の回答は年々減少傾向にあるが、「優れていた」とする割合も減少していることから、まだ改善の余地があると思われる。

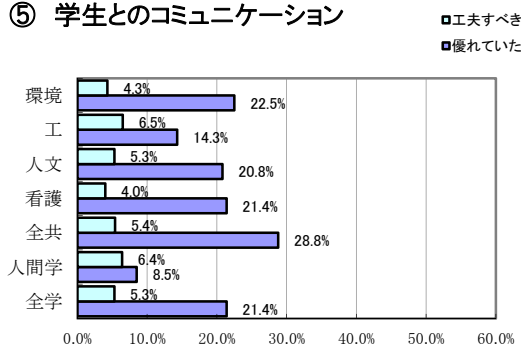
④ 授業の組み立て



前年度同期とほぼ同様の回答となった。

環境科学部と人間学では、前年度同期より「工夫すべき」という回答が減少し、「優れていた」という回答が増加したことから、わずかであるが改善の傾向が見られる。

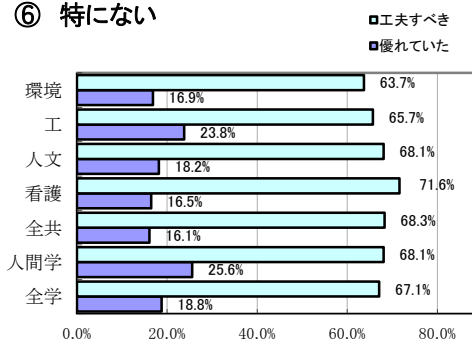
⑤ 学生とのコミュニケーション



学部間に差が見られる。全体的には「工夫すべき」も「優れていた」も減少傾向にある。

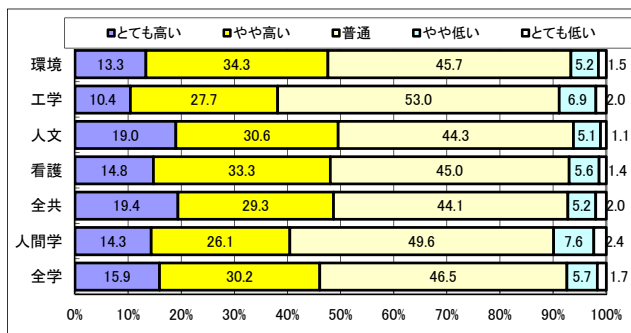
「優れていた」が減少傾向にあることから、さらに積極的な学生とのコミュニケーションが求められる。

⑥ 特にない



概ね6割以上が「工夫すべき」ところがないという回答であり、前年度同期比で7.4ポイント増加したものの、「優れていた」も特にないという回答も2.4ポイント増加した。アンケートに対する学生の対応がマンネリ化してきた可能性も考えられる。

設問12 この授業の満足度はどの程度ですか

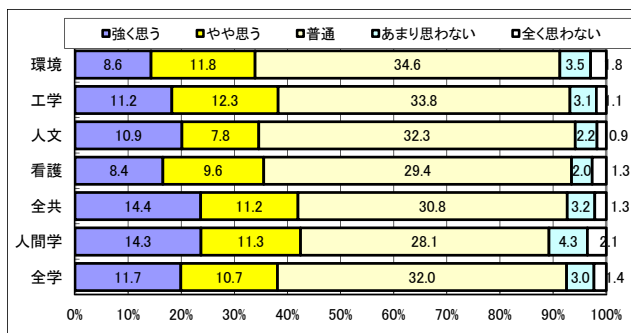


満足度は、前年度同期とほぼ同じ分布となったが、「普通」という回答が増加している。

全学共通教育は、単純に国際教育センターと比較できないが、本年度前期までは「とても高い」「やや高い」の割合が50%を超えていたが、今回は50%を切ることとなった。

	H22後期	H23後期	H24後期
全共	52.3%	→ 53.7%	→ 48.7%
全学	45.0%	→ 46.3%	→ 46.1%

設問13 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して適切な処置をとりましたか



*注:「該当しない」(41.2%)を除くグラフ

各学部で、同じような傾向を示している。「あまり思わない」「全く思わない」が、全学平均で4.4%であり、特に本年度前期と同様に環境科学部と人間学において高い傾向がある。

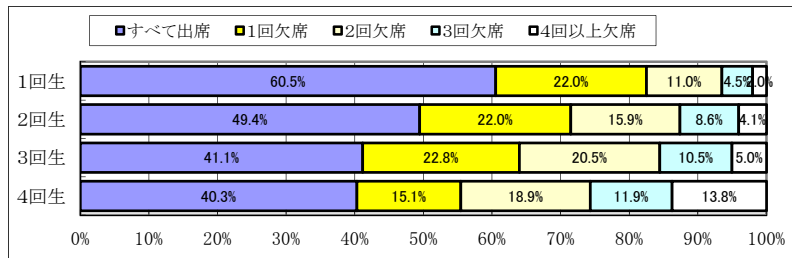
(4) 学生属性(学年別)の集計

	環境	工	人文	看護	計
1回生	2,122	1,871	2,659	839	7,491
2回生	1,754	1,275	1,774	745	5,548
3回生	767	1,038	801	151	2,757
4回生	189	238	179	51	657
合計	4,832	4,422	5,413	1,786	16,453

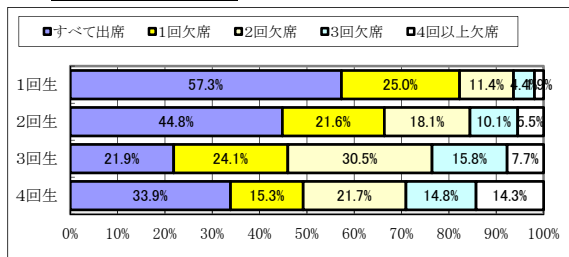
※ その他(回答数:658)は大学院生
または学部・学年が不明

Q1 どれだけ出席したか

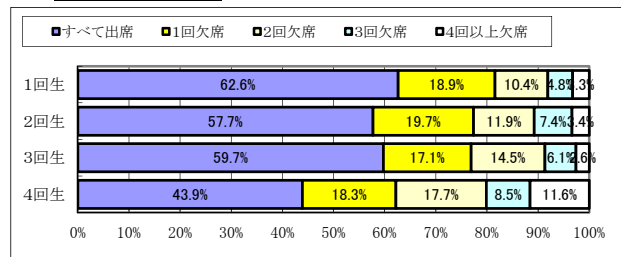
全学



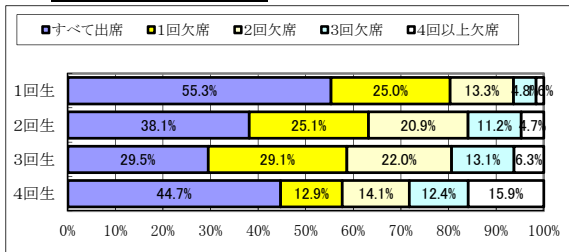
環境科学部



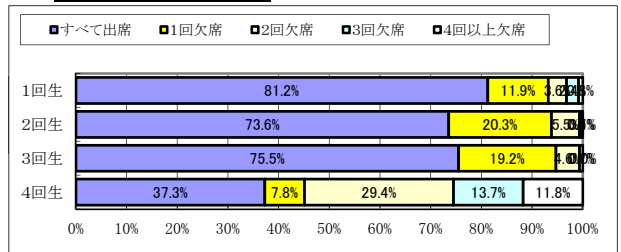
工学部



人間文化学部



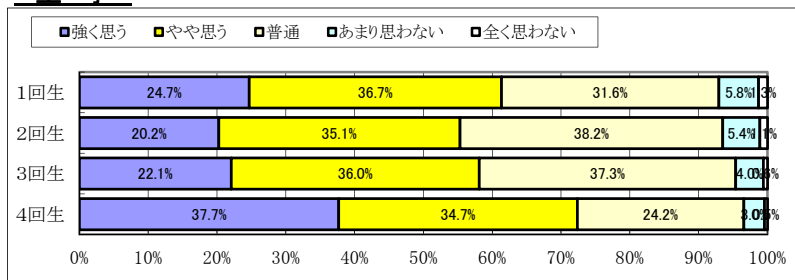
人間看護学部



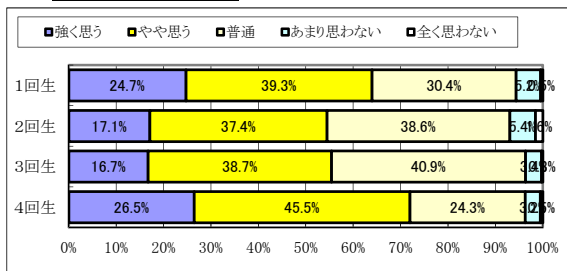
後期については全体として高学年になるにつれて出席率が低下している中で、今回は1、4回生の出席率が向上し、3回生の出席率が低下している。

Q2 受講態度は真剣だったか

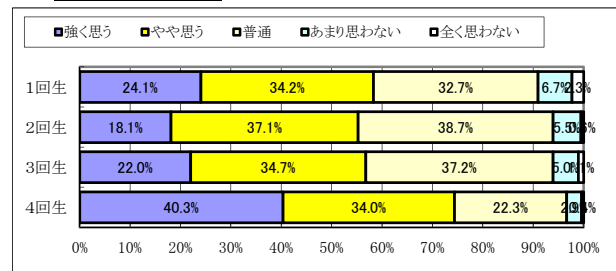
全学



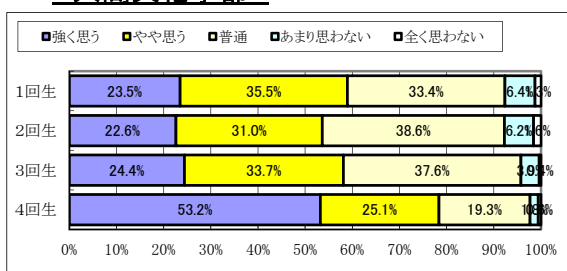
環境科学部



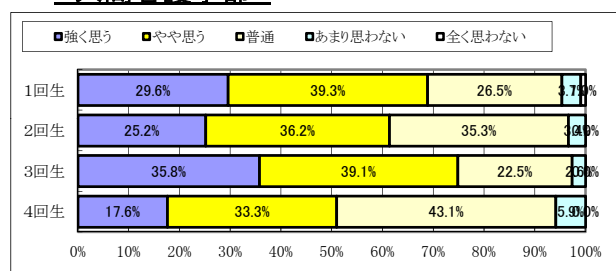
工学部



人間文化学部



人間看護学部



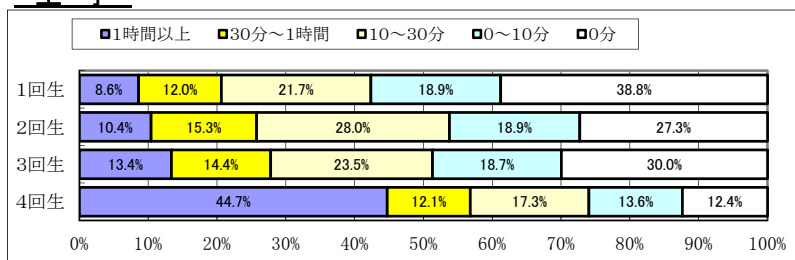
全学では、4回生で「強く思う」の割合が高く、前年度同期に比べ5.8ポイント増加している。特に、工学部の4回生では、32.2%から40.3%へと8.1ポイント、人間文化学部の4回生では、33.9%から53.2%へと19.3ポイント増加した。

また、4回生の「強く思う」と「やや思う」の割合は、人間看護学部を除き70%～80%であるが、人間看護学部では、50.9%で、前年度同期に比べて6ポイント減少した。

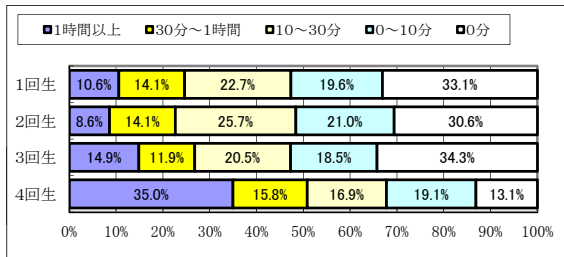
人間看護学部の「真剣」の割合は、本年度と前年度の後期においては、4回生より1～3回生の方が高いが、前期のアンケート結果では、すべての学年で他学部に対して「真剣」とする割合が高く、かつ4回生で高かった。

Q3 当該授業に対する毎週の学習時間

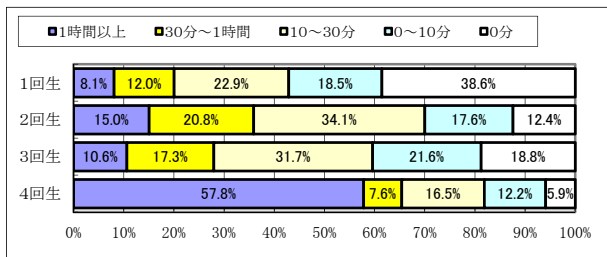
全学



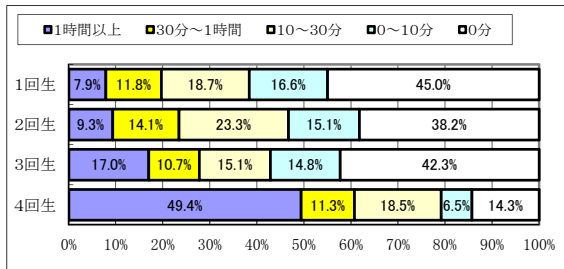
環境科学部



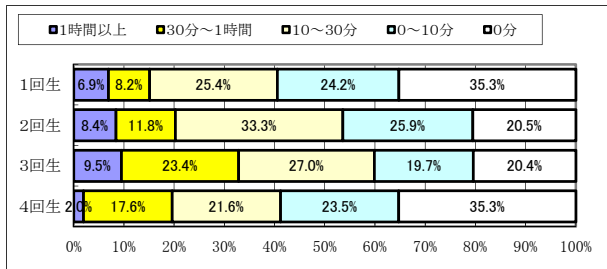
工学部



人間文化学部



人間看護学部

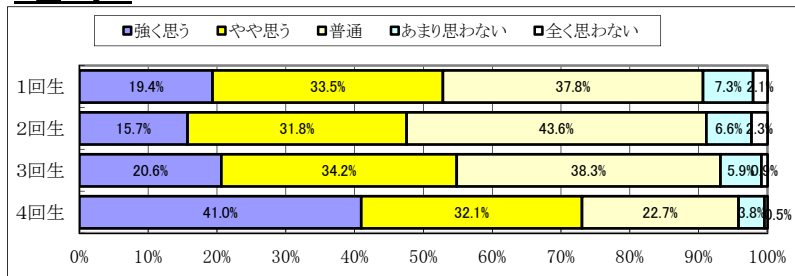


全学では「1時間以上」とした割合が、4回生で前年度同期と比べ11.1ポイント増加した。特に、工学部では46.7%から57.8%へと11.1%、人間文化学部では、30.8%から49.4%へと18.6ポイント増加した。「0分」とする割合は、3回生で増加し、特に環境科学部で8.2ポイント、人間文化学部で4.2ポイント増加した。

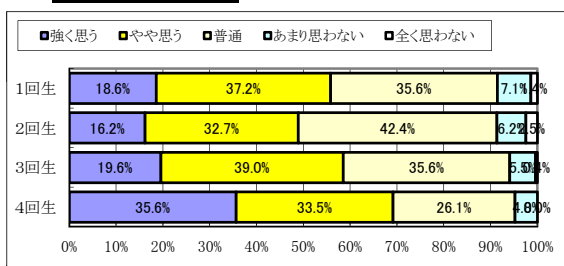
全学(P5設問3)において、「1時間以上」とする割合も、「0分」とする割合も減少していることから、4回生の回答数が少ないことを考えれば、4回生の学習時間が増加しても全体の学習時間は増加しているとは言えず、むしろ、前年度同期比では減少の傾向にあることから、全学的に学習時間を増やす工夫が望まれる。

Q4 興味を持てる内容だったか

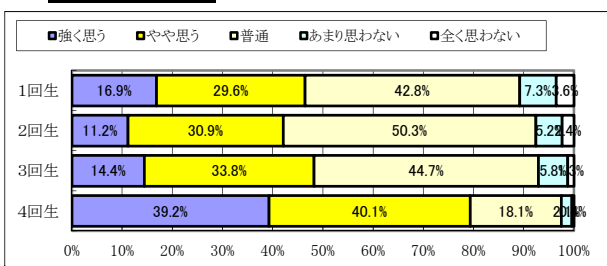
全学



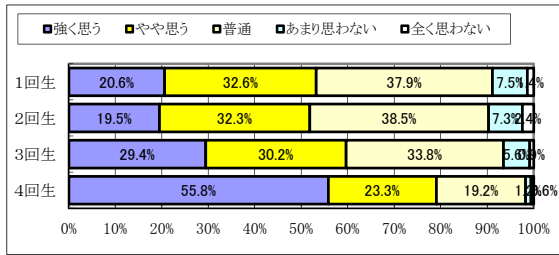
環境科学部



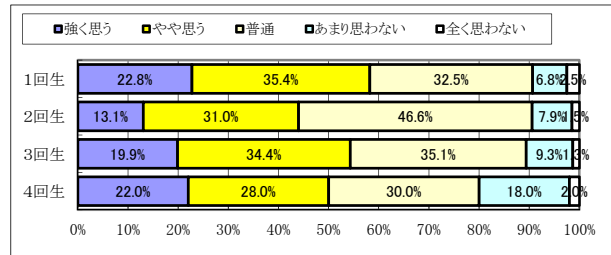
工学部



人間文化学部



人間看護学部

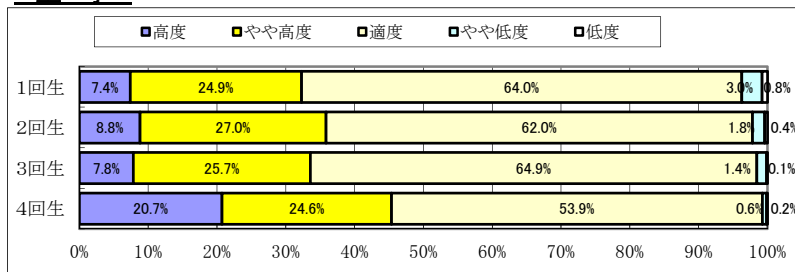


前年度、前々年度同期と変わらず、高学年になるに従い、興味を持つ割合が高くなる傾向にある。

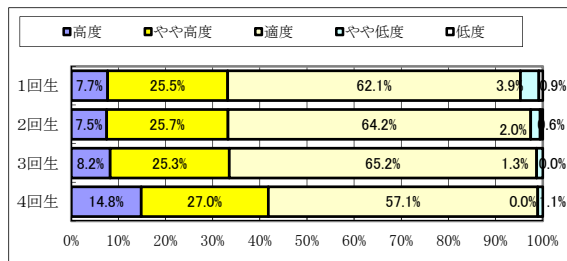
人間看護学部においては、回答数の割合が少ないことから、年度によって影響を受けやすく、特にこの項目については、傾向は読み取りにくいですが、前期は高く、後期は低い傾向にある。

Q5 授業レベルはどうだったか

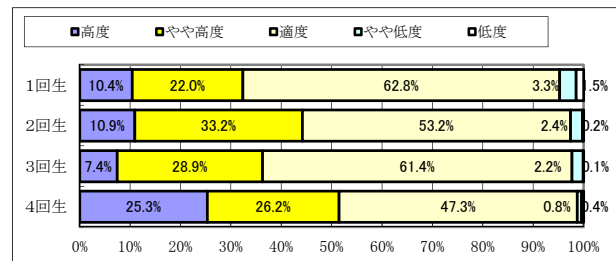
全学



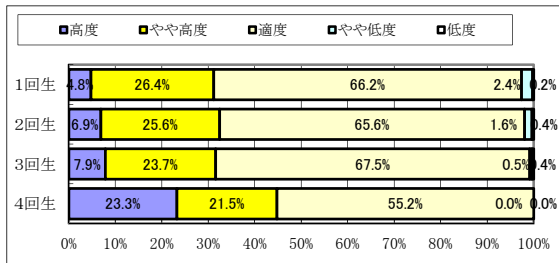
環境科学部



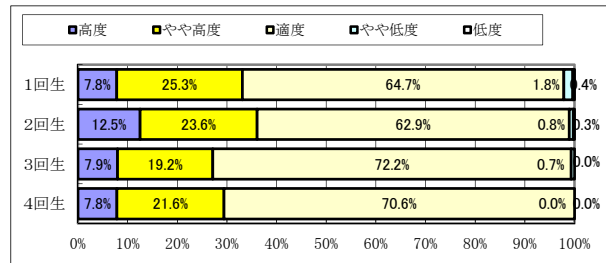
工学部



人間文化学部



人間看護学部



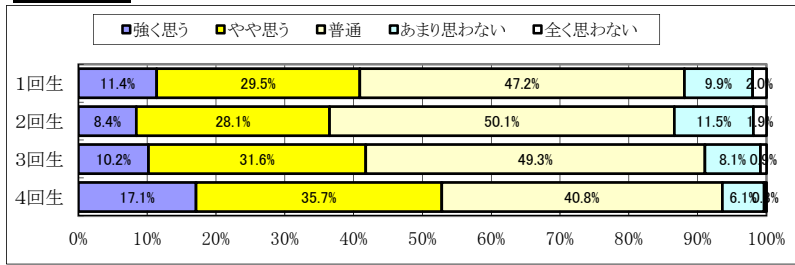
「適度」、「やや高度」とする回答が、4回生を除き前年同期に比べわずかに上昇した。

4回生では、「高度」とする割合が20.7%あるが、特に工学部の4回生では11.3%から25.3%へと14ポイント、人間文化学部の4回生では15.5%から23.3%へと7.8ポイントの増加が見られた。

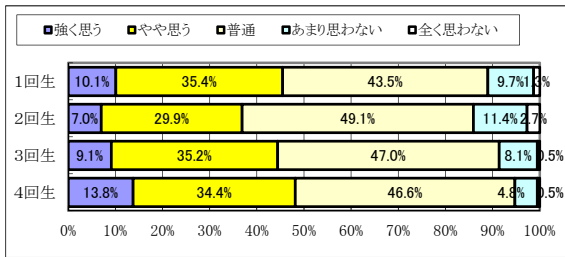
「低度」「やや低度」とする回答は少ないものの、1回生でそう感じる割合が高く、3.8%となっている。

Q6 授業内容は理解できたか

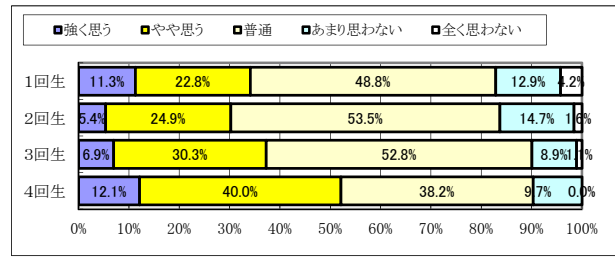
全学



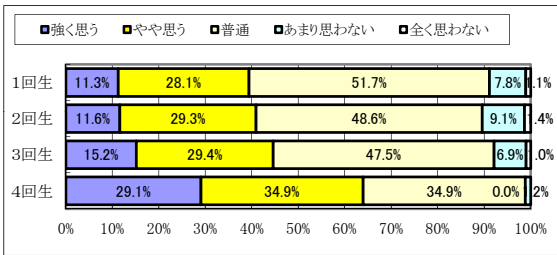
環境科学部



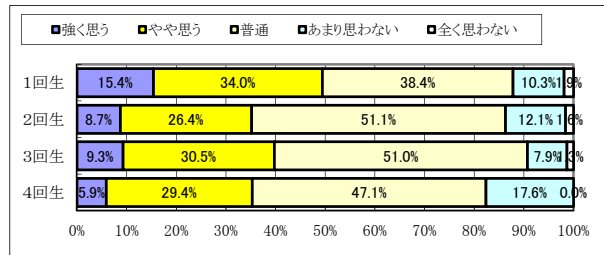
工学部



人間文化学部



人間看護学部



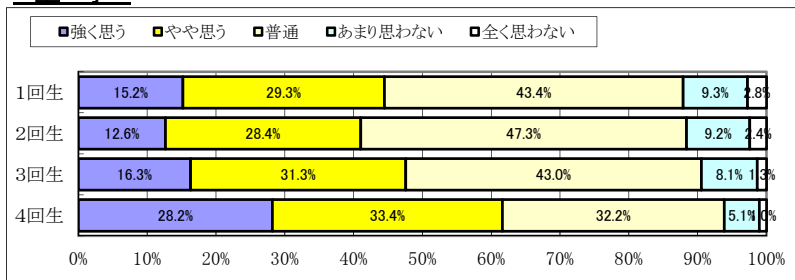
例年通り、学年を問わず、総じて2年生がやや低調な傾向にある。

「あまり思わない」「全く思わない」とする回答が、すべての学年で15%以下となっており、減少傾向にある。

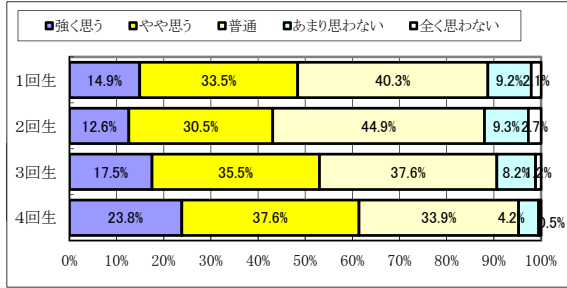
学部別では、工学部1、2年生および人間看護学部の4年生で、「あまり思わない」「全く思わない」とする回答が15%を超えている。

Q7 より深く学びたくなったか

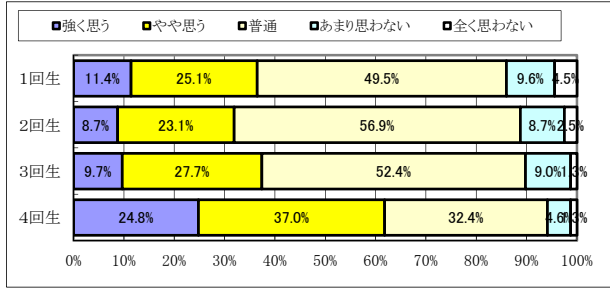
全学



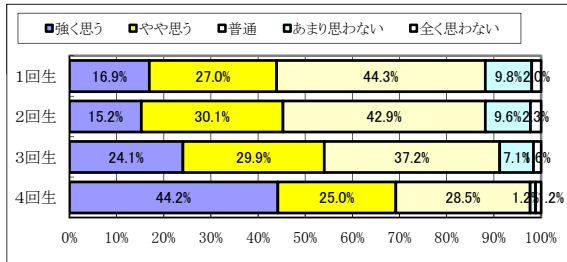
環境科学部



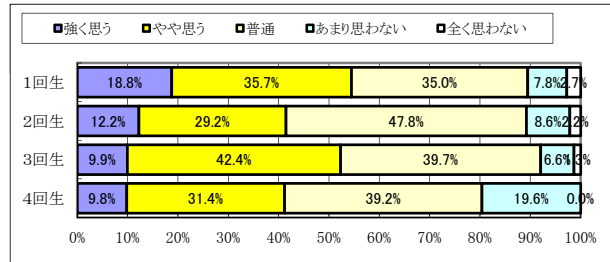
工学部



人間文化学部



人間看護学部

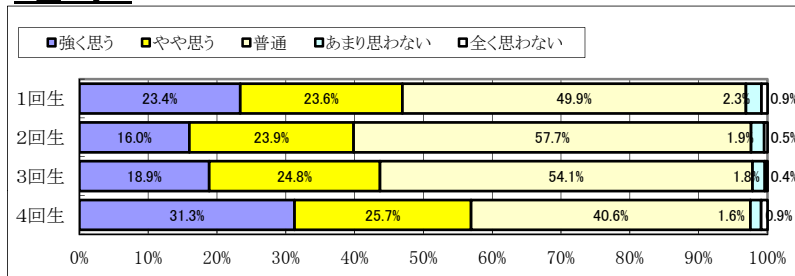


総じて4回生のポイントが、人間看護学部を除いて高い傾向にある。

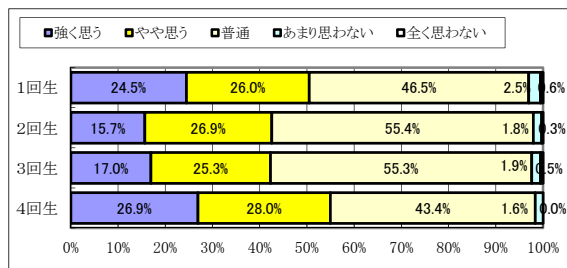
人間看護学部の4回生では、「強く思う」、「やや思う」が前年度同期に比べ15.3ポイント増加したが、前期に比べるとかなり差があり、傾向は一定しない。(今年度前期の4回生の「強く思う」「やや思う」の合計は、88.4%であった。)

Q8 履修の手引きと一致していたか

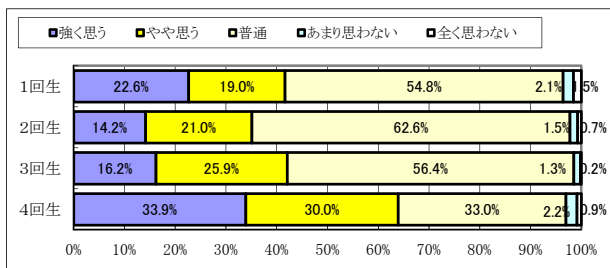
全学



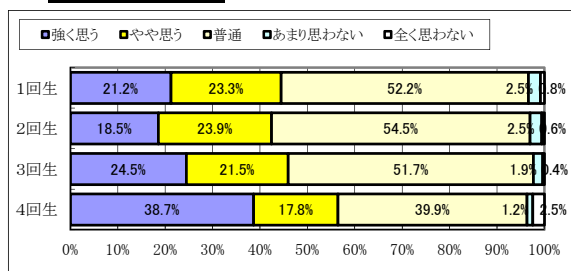
環境科学部



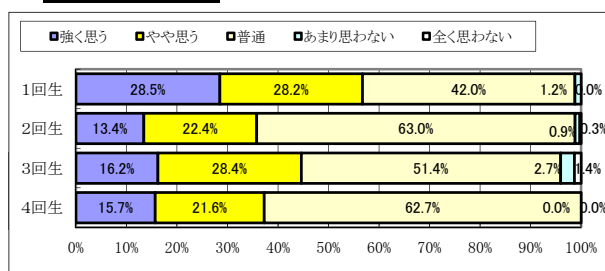
工学部



人間文化学部



人間看護学部



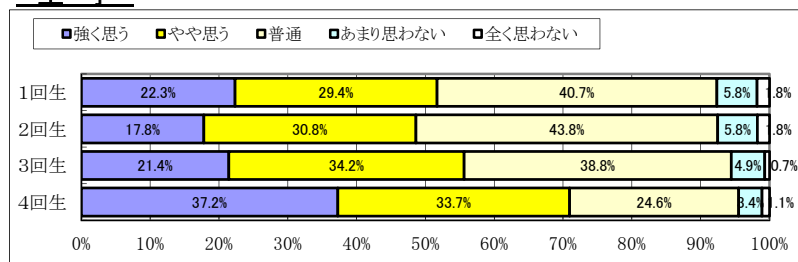
例年と同様、否定的な回答はほとんどない。

講義概要を読んだ学生の期待に添わない授業内容はほとんどなかったものと思われる。特に工学部4年生では、63.9%が手引きの内容とほぼ一致していたと回答し、中でも33.9%が「強く思う」としている。人間文化学部においても4年生では、「強く思う」と回答した割合が38.9%となっている。

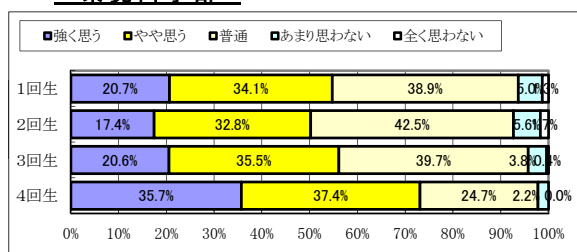
なお、わずかであるが手引きとほとんど一致していないと思われる科目も、存在する可能性がある。

Q9 教員の教え方は適切か

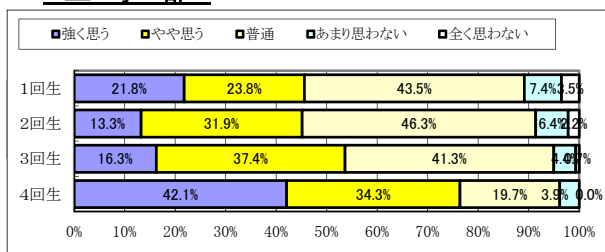
全学



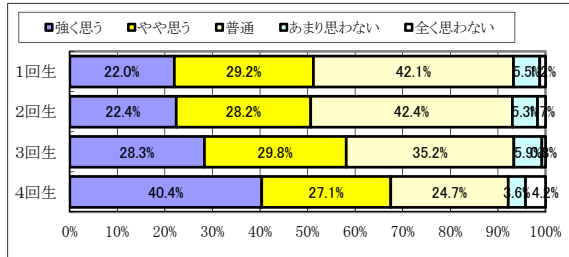
環境科学部



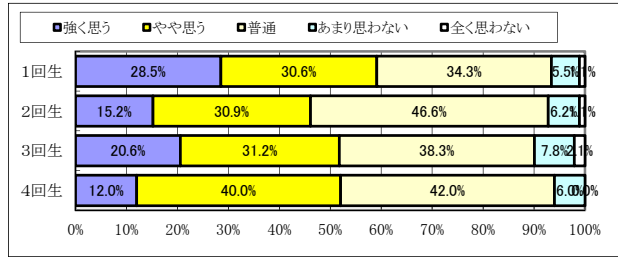
工学部



人間文化学部



人間看護学部



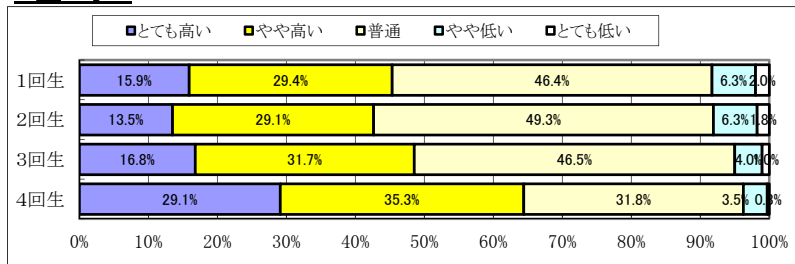
全学的には「強く思う」の割合は、人間看護学部を除き4回生で高い。

前期も後期もほぼ同様の分布を示す中で、人間看護学部においては4回生で「強く思う」が60.0%から12.0%に大幅に減少している。また、平成23年度後期も同様の傾向が見られる。人間看護学部4回生の「強く思う」、「やや思う」の推移は以下のとおり。

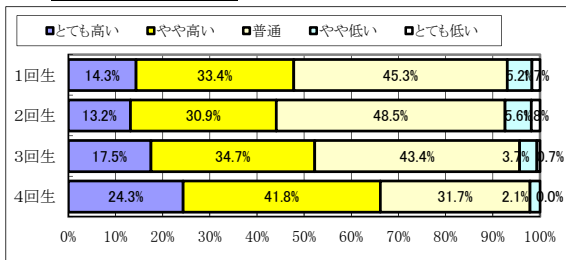
	H22後期	H23前期	H23後期	H24前期	H24後期
強く思う	75.0%	71.3%	44.6%	76.0%	52.0%

Q12 授業の満足度

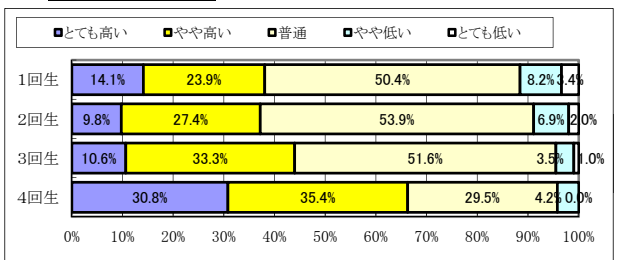
全学



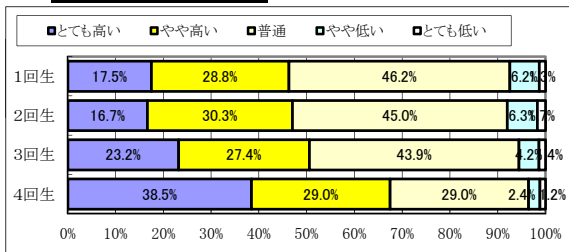
環境科学部



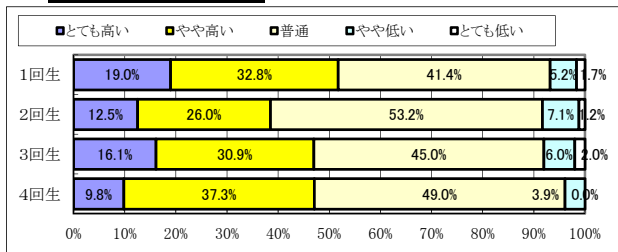
工学部



人間文化学部



人間看護学部

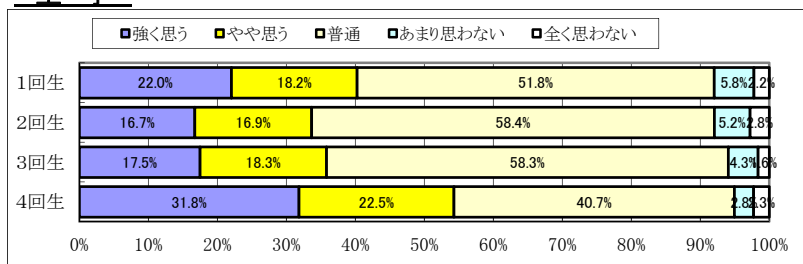


例年通り、人間看護学部を除き4回生に肯定的な意見が最も多く、全体の分布にあまり変化はない。

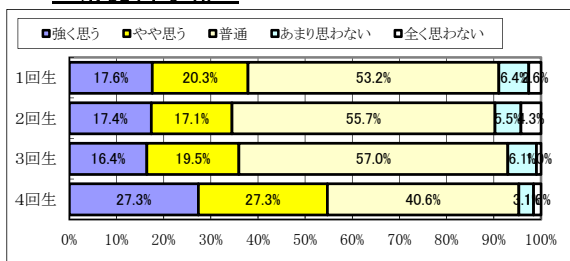
概ね9割以上の授業でほぼ満足が得られていると考えられるが、低学年にいくほど満足度が「とても低い」「やや低い」の回答が高くなる傾向がある。

Q13 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して適切な処置を取りましたか

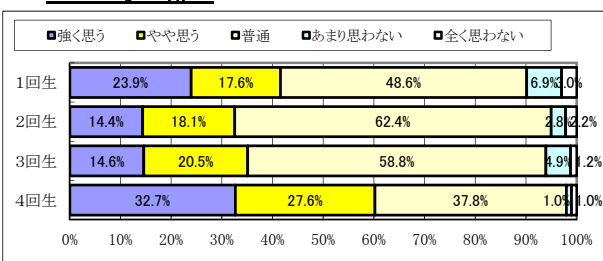
全学



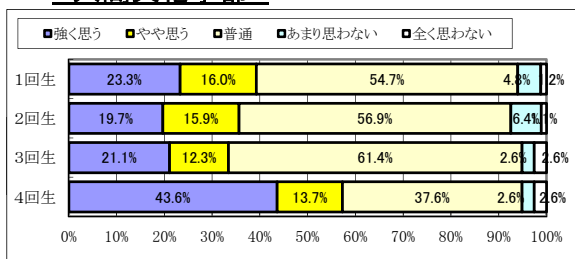
環境科学部



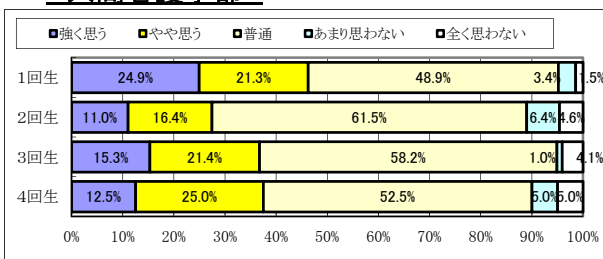
工学部



人間文化学部



人間看護学部



本年度から追加した設問である。

「強く思う」の割合は、全学的には前期に比べてどの学年でも向上している。特に工学部と人間文化学部の4回生では10%以上向上した。

授業中の迷惑行為に対して、概ね1割弱の授業においては適切な処置がとられていないと感じている傾向が推測されることから、授業を受ける際の基本的なマナーでもあり、引き続き教員、学生のサイドから何らかの対策が望まれる。